

せんね。

■……安倍政権の経済政策への期待感が高まって、株価も久しぶりに1万1400円台とか。これまでの民主党の3年間、動きの鈍かった経済界、証券業界も活気を取り戻したようで、先の産業競争力会議でも安倍首相は「従来の発想を超えた大胆な対策を」と改革の加速を訴えました。農業経営の大規模化や農林水産物、食品の加工などにフアンドで支援、輸出額を倍増へ、と庶民生活への潤(うる)おいを願うこと。

■……ひょっとしたら大惨事が、はたまた戦争でも、と驚かせてくれるのが中国と北朝鮮。中国からは西日本を中心に大気汚染物質が黄砂まがいに流れ込み、呼吸器や循環器疾患のある人たちは悪化の懸念があるようで。北朝鮮の核実験は今度が3度目。ミサイル開発とあわせて直接韓国への脅威になっています。瀬戸際外交」とかで、首脳会談を申し入れた韓国に対して北はその見返りに約470億〜560億円規模の物品を要求しました。韓国では独自の核武装論が噴出、いざ一大事に備える構え。わが国も他人事ではありま

■……中国海軍艦船による海上自衛隊護衛艦への射撃管制レーダー照射も困ったものです。日本の領海に中国艦船が再三入ってくるのもいい加減にしてほしいですね。中国側と言われれば、日本の艦船が警告に従わずに中国の艦船を追跡すれば「射撃管制用レーダーを照射し、危険な行動に出れば断固として自衛する」と警告しているそう。尖閣諸島の領海内に中国船が侵入するのは、いずれは大漁船団で魚群を採ったり、海底資源を採掘したり、揚げ句は「自国の海」としたいがため？

■……中国共産党の習近平総書記は外国人専門家の前で「中国は絶対に覇権を唱えず、拡張主義も取らない」と平和的な対外関係を進めたいと考えを強調しています。北朝鮮のあの若い人にも言いつて聞かせてやってください。東アジアで緊急関係を招く言動はそろそろ控えてほしいものです。フィリピン、インドネシアからも海域の安全に神経をとがらせています。中東シリアも政権交替の時期。地球上で何処も戦火をまじえない、犠牲者を出さない、そんな平和・安全の地図を出現させたいですね。

■……東日本大震災の被災地石巻市に金の延べ板が続々届けられたそう。うて、いずれも匿名の支援、助け合いの精神はまだまだ続いているようです。年配女性の声で「支援したい」と電話があり、匿名で3回に分けて計28万円が振り込まれたり。米領グアム島での無差別殺傷事件では被害者のための基金が設立され、約10万円(約920万円)の寄付が寄せられたといえます。「日本人の力になりたい」と電話が鳴りやまず、小口の寄付金がどしどし。助け合いの気風が息づく小さな島。

■……ある大学の調査で、働き盛りの20〜59歳で未婚、無職の男女が2011年時点で162万人もいるそうです。社会と接点を持たない「孤立無業者」というらしい。15歳〜34歳で、通学も仕事も、職探しもしていない人を「ニート」と呼んだものです。この人たちの数は63万人。孤立無業者で「ニート」では、どんな楽しみ、生き甲斐があるのでしょうか。最近問題になった体罰事件では、年端(は)も行かない少年をたたきのめして死に追いやった体罰教師。この粗暴な性格、きつと平手打ちで子どもをたたくことが生き甲斐？

月刊公論 MONTHLY
KORON

4月号 第46巻4号

平成25年4月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。